

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども

取組目標

合言葉を『三笠はひとつ、三笠はならのまほろば』とし、奈良の中心地としての伝統や文化・誇りを再確認し、新たな郷土愛や誇りを育む。

【今年度の取組紹介】

○三笠ウォークラリー in 大宮

昨年度の子ども未来会議で「私たちのまち、三笠中学校区 子どもが好きなおすすめスポット」をテーマに話し合いました。この会議で出た大宮地区のおすすめスポットを5チームに分かれてめぐり、各ポイントではクイズやじゃんけんのイベントが行われました。それぞれ違う校区の子どもたちが協力して問題を解くなど、和気あいあいとした雰囲気であいていた姿がとても印象的でした。車の往来が激しい大宮地区ですが、交差点で地域の方や先生方が立哨してくださったおかげで安全にウォークラリーを行うことができました。



○なら三笠まほろば文化祭

幼稚園・小学校・中学校・地域の文化交流会を開催しました。日頃の練習の成果を存分に発揮し、客席からは拍手や声援が送られ大好評で、子どもたちは素晴らしい出会いと感動を感じることができました。また、当日の司会や、裏方としての運営にも地域の方と中学生が「協働」で行い、大きな達成感を味わえるイベントとなりました。



【今年度のまとめ】

ドッジボール大会により小学校間の交流を深めたり、校区内の幼小中で「ノーメディアデー」の取組や自分の夢を表す漢字「一文字」の募集を実施し、各家庭への働きかけを行ったり、未来会議を通じて、大人と意見交流をして自分の考えを伝えたり、100年会館の大ホールで日頃練習してきた成果を披露したり、様々な視点で地域の子どもたちへの取組を進めていくことができました。各事業とも回を重ね、コーディネーターの動きもスムーズに行われています。さらに運営も小学校区ごとに持ち回り、各々スキルアップしています。校区内の教職員と地域の合同研修の実施など教職員の意識改革を推進していく取組も行いました。これらの事業や日々の活動を広報紙や三笠中学校のHPで公開し、広く広報活動に努めました。

【来年度に向けて】

今後、これまで取り組んできた軌道を修正しつつ推進していきます。具体的には、各事業内容をさらに魅力あるものとするため工夫や精選をすると同時に、活動目標に照らし合わせ各事業を共に作っていくという参加者の協働意識を育めるよう取り組んでいきます。また、地域の方も各種団体の委員を兼ねている方が多く、教職員の人事異動も考えると関わる人材の裾野を広げ、幅広い方々に関わっていただけるよう展開していく必要があります。各事業の継承、運営する人材の確保という観点からも、これからの取組の情報発信により力をいれ、さらに地域と共にある学校づくりに努めていきます。

めざす子ども像

**郷土を愛し 夢と希望をもち 自分自身に
誇りをもって 未来を切りひらく子ども**

取組目標

学校を支援してもらうだけが目的ではなく、地域力の醸成や住民自身のやりがいを感じる場をつくり、地域と学校との間に良好（双方にメリット）な関係づくりをめざす。

【今年度の取組紹介】

本校は地域教育協議会を『コミュニティ・スクール』の四つの部会である「学び支援」「育ち支援」「地域連携」「学校評価」の実働組織である「地域連携」として位置づけ活動しています。部会は、学校の教育目標を学校・家庭・地域で共有し、組織的・機能的に運営していくことで職員、保護者、地域の協働意識を高めるとともに、生徒の抱かえている課題をそれぞれの立場で把握し、具体的な活動に取り組み、課題の解決に努めています。教員が子どもと向き合う時間確保のため、図書ボランティア、放課後や土曜日などの課外授業から、キャリア教育・防災学習など教育課程内にも支援を広げています。さまざまな実社会で経験を持つ大人が工夫を凝らした授業を展開することにより、子どもだけでなく教員も課題解決力の向上や、明確な教員としての目的意識・責任感を養うことにつながっています。また、地域行事・清掃活動等に参加し、地域の方々との活動を通して、社会性やコミュニケーション能力を育み「生きる力」を培ってきています。特に進路に向けた面接練習として、企業勤務経験者などの地域住民が面接官



となり、目前の高校進学だけでなく勤労観・職業観を養い、社会自立をしていくことに対する目的意識を持たせることにつながっています。7回目となる地域スポーツフェスティバルも地域・小中教員の交流を深め、地域住民・小中PTAのネットワークを高め、地域プライドの醸成を図っています。

【今年度のまとめ】

生徒が地域に出向いてボランティア活動を行い、地域の中で存在感を発揮することによって、地域や周りの方々に喜んでもらえるだけでなく、自分自身をさらに成長させることができました。地域行事等では、参加して楽しむだけの側ではなく、地域の大人や教員と一緒に運営・主催する立場として参加し、司会をはじめとする運営スタッフとして地域に貢献しました。このような活動を通して、多くの大人たちに評価をいただき、自己有用感を味わい、地域や保護者の方々に支えられながら、生徒ひとりひとりが育ち成長することにつながりました。

【来年度に向けて】

来年度は、これまでの活動内容の継続するところと再考していくべきところを考える時期に来ています。これまで培った地域コミュニティでの協働体制を大切にし、子どもたちのため、学校や地域のために活動することを通して、『みんなで支え、みんなで育てる』と同時に『学校・地域のみんなが育つ』ための核となる組織づくりを目標にさらに取り組んでいきます。

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども

取組目標

世界にはばたく世界で生きる椿井っ子

【今年度の取組紹介】

奈良市の中心部に位置し、多くの社寺や観光名所が校区内にある本校は、長い歴史と伝統を有する学校であり、地域の方は愛校心が強く、また、学校教育に対する関心も高いです。そのため、何事にも協力的です。こういった素晴らしい環境や地域の教育力を生かし、自分たちのまちに誇りをもつとともに、積極的に活動し、表現や発信のできる児童の育成をめざして取組を進めました。

今年度は、今までの取組を踏襲する形で事業を進めました。名人に学ぶ事業、リコーダー演奏では、校区内にお住まいの方においでいただき、様々な種類のリコーダーの音色を聞かせていただきました。音楽科で初めてリコーダーに触れる3年生の児童にとっては、これ以上ない関心を高める活動となりました。また、名人に学ぶ事業、おんまつりのお話では、同じ3年生におんまつりのお話をしていただきました。講師は、普段からお世話になっている民生児童委員の方で、おんまつり大名行列保存会の副会長もしておられる地域の方です。椿井小学校区ではないとできない体験的学習ができました。



リコーダーの演奏



おんまつりのお話

【今年度のまとめ】

地域の方々が、学校に対してとても協力的です。校区にある椿井小学校だからと、講師等を引き受けていただいております。椿井小学校でしかできない取組が進められました。平成29年度に始めた、絵手紙の取組は、今年度は、地域の方を講師として招くのではなく、職員がその手法を生かして、教育活動に取り入れ、展開することができました。地域の方から教えていただいたものを学校のものとして取り込むことができた良い例だと考えます。子どもたちは、当たり前のように身近にあるものの価値に気付くことができ、郷土への誇りをもつことができました。

【来年度に向けて】

来年度は、地域で決める学校予算事業自体が大きく変更されるので、取組の精選を検討しなければなりません。せっかく続けてきた事業の継続を基本に、可能な範囲での精選をはかります。地域の「いつでも協力する」という声があります。外部人材の活用も含め、本校の教育目標の達成をはかれるようにしていきたいです。

めざす子ども像

**郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りを
もって、未来を切りひらく子ども**

取組目標

**夢を持ち、夢を語り、夢を叶えるたくましい子どもを育てる
大宮アクション ～進めよう 学校・地域・家庭の連携～****【今年度の取組紹介】**

<大宮まつり キッザニア in 大宮まつり>

- ・「子ども盆踊り」を楽しむ地域の方とともに、計画を含め祭りに参加・参画することで、地域の人たちとふれあい、体験を通して自ら進んで実践できる力を培うことを目的として行っています。今年度は祭り当日、台風の影響を受け短縮しての開催となった為、キッザニアの開催は中止となりましたが、多くの子どもたちが計画段階から活動に参加してくれました。

<ふれあい会>

- ・6年生が世界遺産学習で学んだことを地域の高齢者を招いて発表会を行い、交流を深めました。

<健康かけ足>

- ・一人一人が自分の目標を決めて、自分の限界に挑戦し、乗り越えることで、できる喜びを味わうことを目的として実施しています。子どもたちは汗を流しながら、目標達成に向けて精一杯頑張っていました。



<おはなしの会>

- ・学期に一度、全てのクラスで「おはなしの会」の方に読み聞かせをしていただいています。本校では9年前から継続して取り組んでおり、子どもたちの豊かな気持ちが育ち、情緒が安定することにつながっています。

<ガンバ読書>

- ・毎週火・木曜日の2回、朝8時30分からの10分間、全校一斉に読書タイムを設定しています。豊かな心、優しい気持ちが育つとともに、落ち着いた気持ちで1時間目の授業を迎えることにつながっています。

<人権教育講演会>

- ・地域の方々と一緒に人権について考え、人権意識を高めるために、日曜参観後に開催いたしました。

<図書ボランティア>

- ・図書室の環境を整えたり、図書の修理をしたりして、読書環境を整えるために火曜日を中心に活動を行っていただきました。

<学校園応援サポーター>

- ・2年生の地域の名人に学ぶ学習や6年生の平和学習、校外学習時の見守り活動や児童の学習の支援の補助などの支援を行っていただきました。

【今年度のまとめ】

- ・地域の方々との交流や協働を通して、多くの人とのつながりの中で生きているということに気づき、大宮を誇りに思い、大宮小で学んで良かったと思える児童が増えてきています。また、地域主体のキャリア教育である「キッザニア in 大宮まつり」等を通して、自分もこの大宮地域の一員であることを自覚するとともに、自ら考え、行動する児童の育ちも現れてきています。
- ・高齢者の方々とのふれあいを通して、地域の方に喜んでもらえることは自分の幸せにつながるということに気づき、地域のためにできることを考えていこうとする意識が醸成されつつあります。

【来年度に向けて】

- ・児童がアイディアを発信し、企画などに参加・参画していく活動を地域の方々と協働で一層充実させ、自分たちができることを考え、行動できる児童の育成を今後さらに図っていきたいです。
- ・今後さらに地域の方と一緒に活動する場面を多くし、大宮を誇りに思い、大宮小で学んで良かったと思える児童を増やす取組を行いたいです。

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望をもち、

取組目標

自分自身に誇りをもって、未来を切り開く子ども
自尊感情をもち、地域・仲間とつながって健やかに生きる児童を育成するための地域教材や人材を生かした取組の充実。

【今年度の取組紹介】

本校の取組の特色の1つであるのが、「雅楽体験」を取り入れた音楽教育を活用した教育活動です。今年も、南都楽所の講師先生の指導も受けながら、取り組むことができました。日本の伝統芸術文化を体験できる貴重な機会になっているのはもちろんですが、大西小の伝統を受け継ぐ誇りを感じ、地域・仲間とつながる思いを味わうことができます。



また、本校の前を流れる佐保川とその自然環境をテーマにした「佐保川環境学習」にも継続して取り組んでいます。1学期の3年生佐保川環境学習に地域の方を講師としてお招きし、自らが住む「ふるさとの川」としてのお話を聞く取組も定着しています。11月の「川辺のまちづくり」と並行して行う川辺の学習会には今年も数多くの児童が参加し、保護者・地域の方とともに魚や水辺の生き物を捕獲し観察しました。地域の方々と共に行う「佐保川清掃」活動なども含め、「わが町を流れるふるさとの川を大切に思う心」を育むことができ、「大好きな大西小を誇りに思う心」の育みにつながっていることを実感する取組となっています。

【今年度のまとめ】

豊富な行事に学年間で参加体制を調整し、地域の環境保全の取組や行事を各学年の教育課程に効果的に組み込んで実施できました。美しい佐保川の川辺で四季を通じて集えるのは、「佐保川清掃」をはじめとする日頃の様々な取組があつてのことという保護者・児童の意識の広がりをもさらに定着させていきたいと考えています。

また、一年を通してクラブ活動・体験学習・読書活動・実技指導支援等幅広い内容で地域の方々に協力していただき、充実した学習活動が展開できました。第6回目を迎えた校区成人式ではなつかしい校舎に集い、地域の方とともに和やかなひとときを過ごしました。

【来年度に向けて】

地域の高齢化などに伴い、地域人材の確保が厳しくなっている状況があります。昨年度から始めた「地域ボランティア募集」の呼びかけをさらに充実していきたいです。また、各取組を今後も継続して無理なく発展・充実させていく上でも、地域・学校・家庭とが熟議を重ねながら、より効果的かつ効果的な事業となるよう、今後も検証・改善を行い、地域・学校・家庭が一体となり、「ふるさとを誇りに思い、大切に思う心」を育んでいきたいと考えています。

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りを

もって、未来を切りひらく子ども

取組目標

地域にある自然環境や文化的歴史遺産、さらには、地域の豊かな人材を活用しながら、心豊かで人や物にやさしく、地域を愛する子どもを育む。

【今年度の取組紹介】

① 児童佐保川清掃活動

佐保川の環境を守る活動として、地域の方々と共同で取り組む佐保川清掃は、生きた学習環境を提供してくれる佐保川をみんなで大切にする心を育みます。そして、地域の方々とこの気持ちをつなげる大切な取組でもあります。今年度も、3年生以上の本校児童が月曜日の清掃時間に集まり、佐保川の掃除をしました。



② とんど焼き

児童支援団体「チェリーネット」、自治会、PTAの皆さんの協力で、今年も1月15日(火)に学校の行事として、とんど焼きを行うことができました。行事のお知らせから竹の切り出し、わらの手配、竹組み、正月飾りの処理など、様々な準備を共同で行うことができました。全校児童が見ている中、大きな炎が燃え上がりました。初めて竹のはぜる音を聞いた子どもたちは、その音にも驚いていました。地域行事を学校行事として行うことで、子どもたちと地域の協力者との距離もぐっと縮まりました。



【今年度のまとめ】

日々の登下校時の見守り活動、本の読み聞かせ、昔遊び体験やミシン授業のお手伝い、平城宮跡でのマラソン大会における安全確保のための引率などを通して、子どもたちがより身近に地域の方々と接し、感謝の気持ちを育てる取組を進めることができました。今後も、地域と学校との繋がりを深める行事や事業を進めていきたいと考えます。

【来年度に向けて】

地域の方々からの多くの支援のおかげで、子どもたちの学習活動や学校行事は成り立っています。今後も、コミュニティ・スクールとして小中一貫教育を推進する上で、地域の各種団体や自治会などとの連携を密にし、佐保川小学校の校区を愛し、校区に誇りをもつ子を育ててきたいと考えています。

めざす子ども像

**郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に
誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標

**地域の人材や教育力をいかした体験活動を進めながら、地域との
つながりを感じ、豊かな感性やたくましい心を育む取組の充実。**

【今年度の取組紹介】

《体力づくり事業より》

『げんきっこクラブ』では、グラミーゴ奈良三笠からコーチに来ていただき、鬼ごっこや体幹を鍛えるような動き、サッカーなどを教わりました。この活動を経験することで、自由選択活動時にも、サッカーに自ら取り組む幼児が増え、友達とルールを確認し合ったり、役割分担をしたりと、体を動かす楽しさと同時に、友達とのつながりも深まってきています。運動会ではシュートを取り入れた競技内容も工夫しました。また今年度は、保護者啓発として、活動の様子を見ていただき、子どもたちの興味や成長を感じてもらうことができました。



《地域で学ぼう事業より》

『お茶会を楽しもう』では、地域の西方寺に出かけ、お茶のお点前や作法を学びました。本堂でお話を聞いた後、花展を見せていただいたり、畳に敷いた毛氈の上でお茶やお菓子をいただいたりしました。厳かな雰囲気の中、普段経験することのない貴重な体験ができたことで、日本の伝統文化を身近に感じることもできたと共に、自分たちの住む地域のすばらしさを知ることができました。



【今年度のまとめ】

地域の方の協力を得て、今年度も多様な体験活動を経験することができました。自らやってみようとする意欲や自主性、地域の方への親しみの気持ちなど、体験活動や、感動体験が子どもたちの育ちや自信につながりました。いつも身近に居てくださっている地域の方へ、「幼稚園で採れたひまわりの種をプレゼントしたい」と、子どもたちから感謝の気持ちも生まれました。

保護者アンケートを実施し、「園は、保護者や地域の方々と連携して、子どもを育てようとしている(地域で決める学校予算事業等も含む)」の項目では、「そう思う・まあそう思う」に100%の回答を得ることができました。

【来年度に向けて】

地域の方々の協力や支援をいただきながら、充実した体験活動を実施することができました。来年度も事業を継続しながら、子どもたちが地域の方により親しみを感じ、人とかかわることで得られる喜びや安心感等が心の栄養となるように、地域・家庭・幼稚園とが連携し、めざす子ども像に向けて努力していきたいと思います。

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望を持ち、自分自身に 誇りをもって、未来を切りひらく子ども

取組目標

様々な環境に関わり心を動かす感動体験を通して、たくましい心と体・豊かな感性をはぐくむための遊びの創造。

【今年度の取組紹介】

〔音楽触れ合い事業〕

子どもたちに豊かな感性をはぐくむためもっと音楽に触れる体験を取り入れたいと考え、保護者や地域の方の協力を得て「音楽を楽しむ会」を2回実施しキーボード・ドラム・サックス・ベースの演奏を聴きました。在園児と共に子育て支援事業に参加の未就園児親子及び地域の方、在園児の保護者などが参加しました。リズムにあわせて自然に身体を動かし、知っている曲は歌い、手拍子や楽器を鳴らしながら音楽を楽しみました。初めて見る楽器に興味を持ちその音色をじっくり聴いたり、ドラムの迫力のある音に感激したり驚いたりしていました。日々の保育の中にも歌やリズム表現、楽器遊び等を計画的に取り入れています。



〔伝統文化触れ合い事業〕

地域の方の協力で毎年継続して行っている茶道教室を今年度は大安寺で行いました。仏像に見守られ厳かな雰囲気の中でお茶を点てたり、いただいたりしました。礼儀作法を大切に、「ありがとうございます」「お先です」等の言葉が心を込めて言えるようにしています。幼稚園から大安寺まで地域の中を交通ルールを再確認しながら歩いて行くと地域の方や自然物との出会いがたくさんあり、地域のよさを発見することもできました。



【今年度のまとめ】

様々な方々と触れ合い交流することで温かい心が育ち、人と関わる心地よさを味わうことができました。地域の方々の協力のおかげで体力づくり・伝統文化・お話・英語・音楽と幼児期に必要な体験が幅広く積み重ねることができました。今年度は保護者も一緒に活動できる事業を計画したことで、保護者の理解を得、協力体制も整いつつあります。保護者の方の地域や事業への意識に少し変容がみられた様に感じています。また、ホームページや地域の会合等で園生活の様子や園児の成長を発信してきたことが、“地域の中の幼稚園”としてより地域の方々の理解や協力を得られたと思っています。

【来年度に向けて】

地域の方や保護者も園児の成長を感じ、高い評価と共に事業の継続を望む声が届いています。回数や行事の精選を考えながら地域の方との打ち合わせを丁寧にしていきたいと考えています。今年度の成果を受けて保護者も一緒に参加できる活動を考えていきたいと思っています。